

## 普及と活用が期待される「建設キャリアアップシステム」

### 全産業を上回って高齢化が進む建設業

年齢階層別にみた建設業の就業者数の割合は、55歳以上が全産業を大きく上回る一方で、29歳以下は下回って推移しており、人手不足の深刻化に加えて高齢化の進展が顕著です(図表1)。

こうした中で2019年4月、国交省と業界団体は連携して「建設キャリアアップシステム(Construction Career Up System)」(以下、CCUS)の運用を開始しています。

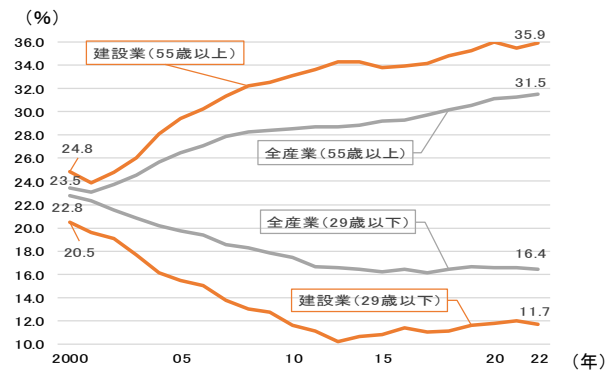
### CCUSの普及と活用が課題解決の一助に

CCUSとは、技能者が安心して働き続けることができる建設業界を目指すための仕組みです(図表2)。

具体的には、技能者の資格や講習の受講履歴、現場での就業履歴等を登録して蓄積することにより、技能や経験を客観的に評価して適切に処遇、若い世代が自身のキャリアパスの見通しをもてるようにすること等を目指しています。また、登録事業者には公共工事入札時の加点などの優遇措置もあり、社員のレベルアップに応じて自社の施工能力をPRできる「見える化評価制度」も導入しています。

広島県においては、2021年3月からの約2年半で事業者および技能者の登録数が2倍以上に増加しています(図表3)。CCUSの普及と活用が建設業界の課題解決の一助となることが期待されます。

図表1 建設業の年齢階層別就業者割合の推移



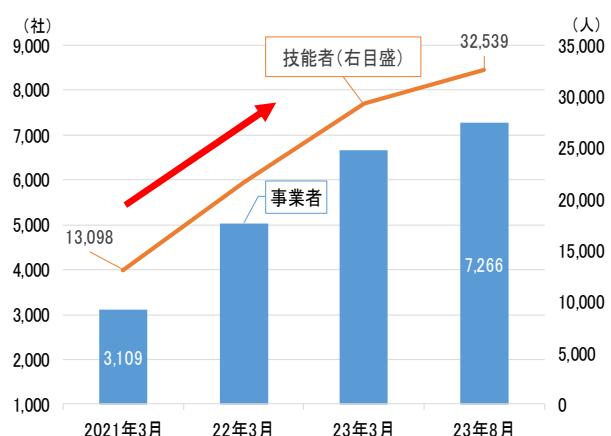
(注)2011年は東日本大震災の影響によりデータなし  
 (資料)国土交通省「最近の建設業を巡る状況について」、  
 総務省「労働力調査」より当部作成

図表2 CCUSの仕組みとメリット

|      | 「技能者」登録   | 「事業者」登録   |
|------|---|---|
| 登録内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格の取得や講習の受講履歴、表彰</li> <li>いつ、どの現場に、どの職種で、どの立場で働いたかなどの就業履歴</li> <li>技能者基礎情報 など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>登録している技能者数</li> <li>職長として従事できるレベル以上の技能者数</li> <li>平均勤続年数、29歳以下の技能者の割合</li> <li>事業者基礎情報 など</li> </ul> |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>公共工事入札時に加点などの優遇がある</li> <li>能力が適正に評価される</li> <li>元請が技能レベルを反映した手当を支給 など</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>自社の施工能力等をPRできる</li> <li>現場管理効率化 など</li> </ul>  |

(資料)各種資料より当部作成

図表3 広島県のCCUS登録者数の推移



(資料)建設業振興基金「建設キャリアアップシステムの運営状況」より当部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：畑(Tel.082-247-4958)までお願いします。